

作成日 年 月 日

栄養管理事例報告（地域栄養分野：特定保健指導）

事例番号：1
事例報告 <input checked="" type="radio"/> 新規提出 <input type="radio"/> 再提出
症例介入 <input checked="" type="radio"/> 主担当者 <input type="radio"/> 副担当者
介入期間： 年 月 日～ 年 月 日

事例・事業名など	内容	対象者
特定保健指導	初回面接 積極的支援	個人 <input checked="" type="radio"/> 集団 (○人)

項目	具体的な内容
事業主体	○○健保
事業目的	対象者の腹囲・体重の減少のための生活改善実施計画を立てる

<対象者情報>

【プロフィール】地方事業所の事務系 男性 5名

年齢 41歳から 58歳

BMI 平均 27.8 kg/m²

腹囲 平均 90.3 cm

【身体状況】 健診結果より特定保健指導積極的支援に該当

【生活背景】 地方農村部事業所において事務系業務（身体活動レベル1）

移動手段は自動車

昼食はコンビニかラーメン店の利用が多い

帰宅は21時前後、夕食の時間が遅い傾向あり

<介入に至るまでの経緯（栄養管理開始までの経緯）>

職員が所属する健保組合より栄養CSに特定保健指導初回の依頼があり、初回面接支援者として参加した・・・ 等

<栄養スクリーニング（他職種からの紹介も含める）>

健康診断の結果より健保組合から特定保健指導積極的支援該当の勤労者に対し、事業所が参加を促し、本人たちの承諾を得た。

栄養診断	N I -1.3 エネルギーの摂取量過剰
(S)	対象者情報より食生活（行動・内容など）
(O)	健診結果（データ）により腹囲85cm以上、BMI25kg/m ² 以上 血圧、脂質、血糖値、喫煙の状況の記載
(A)	栄養診断の根拠（PES） 経年的に腹囲・体重の増加の根拠に基づき適切な食生活の知識不足による糖質・脂質の摂取过多が原因となったエネルギー摂取量過剰である。
(P)	Mx) 体重・腹囲の計測、次回健診の検査結果（血圧・脂質・血糖値） Rx) 食行動のは是正 身体活動のは是正 Ex) 初回面接で参加者自身が行動計画立案、3か月後に中間評価 6か月後に最終評価
<栄養介入>	
1) 目標栄養量	
2) 栄養介入計画 目標削減数値は6か月で腹囲-○○cm、体重-○○kg（-○○kcal/日の設定で食事では-○○kcal 運動では-○○kcal） ①食行動 ②身体活動	
3) 栄養介入の経過 ①初回面接時に行動計画を立案 ②3か月後に腹囲・体重を測定、行動計画の見直し ③6か月後に最終評価	
<栄養ケアプロセス実施の総合評価> 特定保健指導の初回面接のみの依頼のため、本事業の評価のためのアンケートを実施 ・初回面接時のアンケートから参加者による支援者への評価を推測する。 ・中間評価や最終評価が他の支援者になるため、初回面接の情報の伝達が的確に出来た。 ・グループダイナミクスの手法により参加者のモチベーションの向上が促され、具体的な計画を立てられた。・・・・等	
今後の課題 ・・・・・・	

作成日 年 月 日

栄養管理事例報告（地域栄養分野：集団）

事例番号：2
事例報告 <input checked="" type="checkbox"/> 新規提出 <input type="checkbox"/> 再提出
症例介入 <input checked="" type="checkbox"/> 主担当者 <input type="checkbox"/> 副担当者
介入期間： 年 月 日～ 年 月 日

事例・事業名など	内容	対象者
料理教室	夏休み料理教室	個人 <input checked="" type="checkbox"/> 集団 (○人) 小学生

項目	具体的な内容
事業主体	○○栄養 CS が企画、地域の小学校とタイアップして実施した
事業目的	食育：地元でとれる夏野菜を利用して料理の楽しさを体験することにより旬野菜の美味しさを知り、野菜料理に关心を持てることを目的とする。

<対象者情報>

【プロフィール】 小学校 3~6 年生

【生活背景】 地方都市部の住宅街の学区

両親共働き、または父母どちらかと暮らす核家族

家庭での食事は主に親（祖父母）が支度し、子どもの食べたいもののみを作る傾向がある。学校での全体傾向として給食の野菜料理の残菜が多い。野菜の名前が分からず、家庭で食べている野菜の種類が少ない児童が多く見られる。

<介入に至るまでの経緯（栄養管理開始までの経緯）>

小学校内で食に関するアンケートを実施し、検討の結果、当該小学校の栄養士を通じ、○○栄養 CS に夏休み料理教室の依頼があった・・等

<栄養スクリーニング（他職種からの紹介も含める）>

生活背景により、野菜は主に学校給食で摂取され、家庭での摂取量が少ないことが推測された。

（給食実施日の推定野菜摂取量は 200g/日 給食の無い日の野菜摂取量は 100g/日）

そのことから小学校で児童に呼びかけ、希望者に料理教室に参加してもらうこととなった。

栄養診断	NB-1.1 食物・栄養関連の知識不足
(S)	食行動・食内容など対象者の意見が反映されている
(O)	適切なアセスメント項目を選択して記載出来ている（小学校でのアンケートの結果・・・等）
(A)	栄養診断の根拠（PES） 給食の献立名と実際の料理が結びつかないことや、野菜料理の残菜が <u>多いことなどの根拠</u> に基づき、食べたことの無い野菜が多いことや野菜の名前が分からないうことが原因となった食物・栄養関連の知識不足である。
(P)	Mx) 料理教室のアンケートにより、野菜料理の摂取頻度、好きな野菜・嫌いな野菜を聞く。家庭での調理担当者の確認。・・・等 Rx) 料理教室で調理することにより、野菜の味わい・特性を理解する。 Ex) 定期的な料理教室の開催により、野菜に関する情報を増やしていく。
<栄養介入>	
1) 目標栄養量（野菜の摂取目標量）	
2) 栄養介入計画 料理教室の計画（短期・中期・長期）	
3) 栄養介入の経過 ①児童に対し事前アンケートの実施 ②料理教室 ③料理教室時にアンケートを実施	
<栄養ケアプロセス実施の総合評価> 料理教室の前後でアンケートを実施し、料理教室をすることで野菜に対する認知度を把握する。・・・等	
今後の課題	

作成日 年 月 日

栄養管理事例報告（地域栄養分野：集団）

事例番号：3
事例報告 <input checked="" type="checkbox"/> 新規提出 <input type="checkbox"/> 再提出・
症例介入 <input checked="" type="checkbox"/> 主担当者 <input type="checkbox"/> 副担当者・
介入期間： 年 月 日～ 年 月 日

事例・事業名など	内 容	対象者
離乳食教室	保育園の離乳食講座	個人 <input checked="" type="checkbox"/> 集団 (○人)

項目	具体的な内容
事業主体	○市△保育園
事業目的	保育園入園したばかりの保護者に離乳食の講義と試食を行い、入園後の生活を円滑にする。

<対象者情報>

【プロフィール】入園式を終えたばかりの0歳児クラス保護者

【生活背景】最寄り駅徒歩○分の中核都市の保育園。

敷地内は広く、保育園給食には専任栄養士もおり、講座の際には情報交換している。

- ・今回参加の保護者：職業は全員勤め人。母親 名、父親 名(うち2人目 名)

年齢は 歳～ 歳 (平均 歳)

- ・子どもの月齢：5ヶ月 名、7ヶ月 名、8ヶ月 名、9ヶ月 名、10ヶ月 名、11ヶ月 名

<介入に至るまでの経緯（栄養管理開始までの経緯）>

○市主催の食育の会議で同席した園長から離乳食の取り組みが具体的にわからないので離乳食に対して不安感を持っている保護者がいるとのことで離乳食に関する実技指導について依頼があった。

今回4月は入園式後間もない保護者対象。

事前に電話で主任保育士と内容の打ち合わせ。

- ・4月離乳食全般。受講者の子どもの月齢に合わせた話。

- ・保育園の専任栄養士と一緒に講座を行う。事前に園長や主任保育士から、子どもの月齢や離乳食の進み具合等の受講者の傾向を聞き、状況把握する。講座修了後のアンケート調査結果を連絡していただき、次回につなげる。

<栄養スクリーニング（多職種からの紹介状況も含める）>

園長や主任保育士から園の状況を聞き、この状況を参考にしながら、今回子どもの月齢にあわせて、離乳初期から後期、幼児食へとつなげるように講義内容を組み立てる。特に始めるタイミング、次の段階に進む目安や、調理の工夫についての希望あり。

栄養診断	NB-1.1 食物・栄養関連の知識不足
(S)	<ul style="list-style-type: none"> ①食行動 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ②食内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ③身体活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ ・
(O)	・
(A)	<p>栄養診断の根拠 (PES)</p> <p>離乳食開始や進め方に不安感を持っている保護者がいるとの保育園からの依頼の根拠に基づき、離乳食の具体的な取り組みや離乳食の調理の実際等を学ぶ機会がないことが原因となった食物・栄養関連の知識不足である。</p>
(P)	<p>Mx) 保育士から講座申し込み時に不安の内容を聞き取りから、講座の内容に組み入れ、事後アンケート、園の「各期の離乳食面談」で、離乳食の進捗状況や困りごとを把握する。その後母親たちに変化があったか追跡していく。</p> <p>Rx) 離乳食の進め方、作り方、だしの種類と試飲、とりわけ離乳食などについて学ぶ。</p> <p>Ex) 離乳食講座を入園時、と入園半年後に行う。</p>

<栄養介入>

1) 目標栄養量

専任栄養士によると「日本人のための食事摂取基準 2020」から、

0~5ヶ月：男 kcal、女 kcal、

6~8ヶ月：男 kcal、女 kcal、

9~11ヶ月：男 kcal、女 kcal、

と○市の基準も合わせて、授乳・離乳の支援ガイドに沿って進めている。

2) 栄養介入計画

-
-
-

3) 栄養介入の経過

-
-

<栄養ケアプロセス実施の総合的評価>

事後アンケートより保護者の意見・要望を吸い上げる。

-
-
-

今後の課題等

-
-
-